

令和 2 年第 1 回定例会（6 月議会）

教育公安委員会提出資料

（付託議案審査関係資料・当日提出資料）

令和 2 年 6 月 2 4 日

教 育 委 員 会

目 次

高校教育課

- ・ 能代地区専門系統合校の校名候補について 1

能代地区専門系統合校の校名候補について

高校教育課

○統合対象校の沿革について

能代工業高校

- ・明治45年 秋田県工業講習所として発足。
- ・昭和2年 秋田県立能代工業学校となる。
- ・昭和23年 学制改革により、秋田県立能代工業高等学校に改称。
- ・以降、学科改編が幾度か行われ、現在は機械科、電気科、建設科の3学科を設置。

能代西高校

- ・昭和20年 農業科と商業科を併設した能代市立能代女子実業学校として発足。
- ・昭和22年 秋田県立農業学校となる。
- ・昭和23年 学制改革により、秋田県立能代農業高等学校に改称。
- ・平成6年 秋田県立能代西高等学校に改称し、普通科と農業科学科を併設。
- ・平成31年 統合を見据え生物資源科、生活福祉科の2学科に再編。

○秋田県高等学校総合整備計画について

- ・平成22年12月 第六次秋田県高等学校総合整備計画において、能代工業高校、能代西高校を統合する構想案を公表。
- ・平成28年3月 第七次秋田県高等学校総合整備計画において、工業や農業を学ぶことを通して、地域産業を担い、地域に貢献する人材を育成する統合校を設置する構想案を公表。
- ・平成28年9月 統合校基本構想概要を公表し、平成33年4月の開校を予定。

○選考過程について

平成31年4月、同窓会、PTA、部活動後援会、教職員、生徒の代表から校名の決定方法について意見を伺い、公募と決定した。

令和元年7月16日から9月17日までの約2か月間の公募で、2,058件の応募があった。

以降、同窓会、PTA、部活動後援会、教職員、生徒の代表による意見交換会を開催し、選考方針や校名についての意見を伺った。それらを踏まえて、教育庁において段階的に候補を絞り込むとともに、その過程においては両校の同窓会をはじめとする関係者に検討状況を説明し、意向を確認しながら進めてきた。

○公募後の選考過程

※意見交換会を3回実施し、毎回次の形式で意見集約を行った。

- ①会議により意見を交換。
- ②アンケートに回答してもらい、その場で回収。

第1回意見交換会		
期 日	対 象	協 議 内 容
令和元年10月 9日	両校の生徒代表	選考方針、基本的な考え方、考慮すべき事項の確認。応募された校名の中から統合校にふさわしい校名についての検討。
令和元年10月 9日	両校の同窓会・PTA等	

※意見交換会における意見を踏まえ、統合校開設準備室で、選考方針（案）、選考する際の考慮事項（案）、20の校名候補（案）を作成。

選考方針(案)

- ・新しい学校にふさわしく、県民に愛される校名とする。
- ・将来にわたって通用する校名とする。
- ・覚えやすく、響きのよい校名とする。
- ・「能代」を入れた校名とする。
- ・専門高校にふさわしく、学んでいる内容がわかる校名とする。
- ・一方の統合対象校に偏っていない校名とする。

第2回意見交換会		
期 日	対 象	協 議 内 容
令和元年10月18日	両校の同窓会・PTA等	選考方針（案）、校名を選考する際の考慮すべき事項（案）及び20の校名候補（案）についての了承。
令和元年10月24日	能代工業高校生徒代表	
令和元年11月 1日	能代西高校生徒代表	

※意見交換会における意見や、提案された20の校名候補（案）を踏まえ、教育庁において選考会議を開催し、5つの校名候補（案）を作成。

第3回 意見交換会		
期 日	対 象	協 議 内 容
令和元年12月 4日	両校の同窓会・PTA等	5つの校名候補（案）についての検討。
令和元年12月19日	能代西高校生徒代表	
令和元年12月20日	能代工業高校生徒代表	

※意見交換会における意見を踏まえ、教育庁において選考し、「能代科学技術高等学校」を校名候補とした。

令和2年3月26日 校名候補「能代科学技術高等学校」を教育委員会会議で報告

○校名候補「能代科学技術高等学校」について

統合校は、これまで地域の工業界・農業界を支えてきた両校の教育活動を継承しながら、学科間の連携を強化することにより、ICT、再生可能エネルギー等の工業技術の発展や、農業の6次産業化、農と食の福祉分野への応用などの基盤となる知識・技術とともに、ロボット技術やICTを活用したスマート農業、植物工場などの工業と農業の融合を進めていく科学的な思考力を備えた、地域の発展や、グローバル社会の進展に貢献する人材の育成を目指している。

「能代科学技術」の校名は、「能代山本」地域の豊かな資源や産業の持つ力を活用しながら、新しい時代に対応できる「科学」的な視点と巧みな「技術」を身に付けた、「能代山本」地域を支える人材を育成するという統合校の姿を表している。